

住民ハ理論ニ信頼セス 伊与原新

鹿児島の高校で講演をすることになったので、前日に現地入りして桜島を訪ねることにした。以前からこの火山を一度見てみたいと思っていたのだ。ドーンと轟く爆発音を体で感じられたらよいのだが、一番の目的はそれではない。大正3年(1914年)に58名もの死者・行方不明者を出した大正大噴火。その際に流れ出た大正溶岩の産状をこの目で確かめることである。

当日はあいにくの曇り空だったが、鹿児島港に着くと桜島の全貌がよく見えた。ただ、山頂部の南側には雲がかかっている。噴煙の様子は見て取れない。港からフェリーで15分。島に近づくと、山肌に刻まれた無数の谷が立体的になり、迫力を増していく。

限られた時間で桜島の雰囲気を知ろうには、周遊バスに乗るのがよい。しかもこのバスは、島の東西に流れ出た大正溶岩のうち、西側の分布域を囲むように走るのだ。溶岩が間近に見られるという情報を得て、島展望所で途中下車した。そこから次の停留所の赤水展望広場まで、植生の間に露出する溶岩を眺めながら歩く。

一つ一つとした黒褐色の溶岩は、地面を覆うだけでなく、あちこちで奇妙な形のオブジェのようにそびえ立ち、見えて飽きない。新鮮な溶岩に触れていると、ついハンマーで叩き割ってサンプルを持ち帰りたいという衝動に駆られる。元研究者のいかんともしがたいう性であるが、当然ながら私的にそんなことをしてはならない。

バスで桜島港へ戻ったあと、海岸の溶岩原に続く「溶岩なぎさ遊歩道」を散策した。大正大噴火の溶岩は、島の東西で海にまで達したのだ。とくに東側の山腹から流れ出た量は膨大で、いくつもの集落を壊滅させ、海峡を埋め立てて桜島と大隅半島を地続きにした。

私が大正大噴火に強い興味を抱いたきっかけは、「住民ハ理論ニ信頼セス」という言葉を知ったことだ。東桜島町にある桜島爆発記念碑——通称「科学不信の碑」の碑文の一部である。

碑文の概略はこうだ。「大噴火の数日前から周辺では地震などの異変が頻発していたため、村長は何度も鹿児島測候所に判断を求めた。しかし、噴火はないという回答だったため、それを信じた知識階級の人々が多く犠牲となった。住民においては理論(科学)を信頼せず、異変を認めたときはすぐに避難の準備をするのが肝要である」

大噴火から100年以上が経ち、溶岩が焼き尽くした海岸にもクロマツ群落が戻りつつある。しかし、この自然災害に関する科学への人々の信頼は、未だ荒廃したままに思える。私を含め、科学の力を信じる者たちは、そこに限界があることを認めた上で、社会に何をどう伝えればいいのか。簡単には答えが見つかりそうもないことを考えながら、帰りのフェリーに乗り込んだ。

遠ざかる桜島の山頂では雲も消え、噴煙がたなびいていた。

いよはら・しん 小説家。1972年大阪生まれ。東京大学大学院で地球惑星科学の博士号取得。研究者を経て2010年に「お台場アイランドベイビー」で作家デビュー。25年に「藍を継ぐ海」で直木賞受賞。最新刊は「コズミック・ガール 宙わたる教室」(文藝春秋)。



Photo/Keith Ladzinski, National Geographic Image Collection

NATIONAL GEOGRAPHIC



紫の移ろいに染まる砂丘

アメリカ

北米五大湖の一つ、ミシガン湖の東岸に広がるスリーピング・ベア砂丘国立湖畔。氷河時代に刻まれた地形に風が運んだ砂が積み、刻一刻と姿を変える巨大な砂丘が連なる。夕暮れ時、淡い光が砂面と草むらを静かに染め、薄紫のグラデーションに包まれる。

〈行き方〉羽田空港→チェリキヤピタル空港(ミネアポリス経由、約15時間)→車で約1時間

15日 日経 相続・事業承継フェア 2026

●ハイブリッド開催●
東京会場聴講+オンライン配信
(会場：日経ホール 定員：200名)

幸せで安心な人生 100年を生きるための

相続・資産承継対策最前線

8.1 2026 SAT
10:00-16:00

基調講演
10:00-10:40

歌手、俳優、司会者
堺 正章氏

人生100年時代を豊かに生きる
「最高の二番手」としての
人生の楽しみ方

特別講演
13:30-14:10

女優、タレント
秋野 暢子氏

私なりの人生の整え方
—整理整頓して始まる—

特別協賛社講演
10:40-11:40

取締役常務執行役員
舞田 清貴氏



三井住友信託銀行
インフレ時代における相続・事業承継
—いま押さえておきたい承継対策のポイント—

協賛社講演
11:40-12:20

公認会計士・税理士
共同代表
清田 幸佑氏



ランドマーク税理士法人
子どもを困らせないための
令和の相続対策

協賛社講演
14:10-14:50

税理士社長
大塚 政仁氏



税理士法人安心資産税会計
相続専門税理士が語る！
増税時代の不動産相続「新常識」
—実家の土地から資産防衛まで—

お申込みはこちら

事前登録制・参加無料
(定員 東京200名超定+全国オンライン配信)
※応募多数の場合抽選になる場合があります。

日経イベント

検索

<https://neon.event.nikkei.com/e/8326>
問い合わせ先 相続・事業承継フェア2026 事務局
souzoku2026@nkag.co.jp

下記二次元コードからも
お申込みいただけます



お申込み締切

東京会場 7.31(金) 17:00
オンライン 8.1(土) 16:00 まで

会場来場特典

会場ご来場の方全員にクオカード
500円分をプレゼント!!
※会場ご来場特典のお渡しは全プログラム終了後となります



お申込み特典

「相続・事業承継に役立つ遺贈冊子」
プレゼント!! ※先着500名様

主催

日本経済新聞社 メディアビジネス

特別協賛

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

協賛

ランドマーク税理士法人
Landmark Licensed Tax Accountants Co.

税理士法人
安心資産税会計